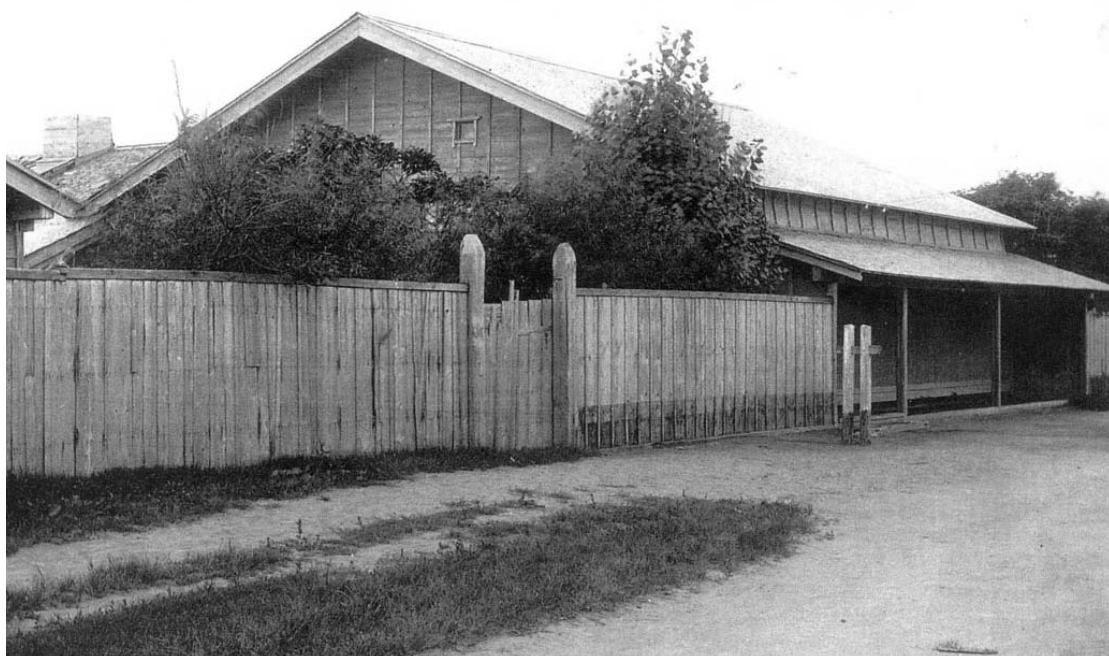


村山家住居復元



村山家全景

村山家は、江戸時代に石狩場所を請け負った商人で、蝦夷地を代表する豪商でした。明治初めころに松前から石狩に移り、漁場経営などを行っていましたが、明治41年、小樽に転居しました。

村山家の住居は、現在の親船町24番地にありました。転居後は借家となり、戦時中は軍が使用していましたが、昭和20年7月15日の石狩空襲により焼失しました。

この住居については、ほとんど資料が残っておらず、数点の写真と隣家の船大工故船木兼蔵氏から聞き取った間取り図があるだけでした。石狩市郷土研究会の榎本新一副会長は、このわずかな手掛かりから、平面図、側面図を再構成し、さらに精密な復元模型を作成しました。

復元された建物は、質素な中にも囲炉裏のある大きな居間や、開け放すと70畳を越す座敷、幅6尺(約1.8m)の大きな仏壇、広い庭など、石狩の有力な漁場主の生活をほうふつとさせるものです。

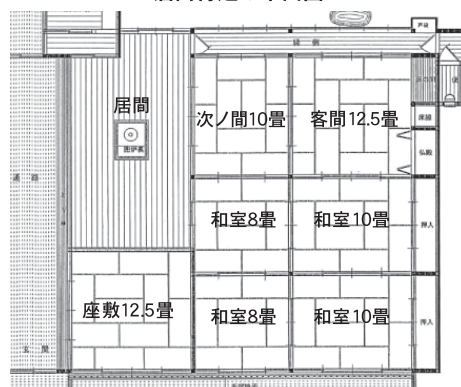


村山家住居復元模型

本町地区に歴史的な建物は数えるほどしか残っていませんが、このような復元が進めば、明治時代の町並みが再現できるかもしれません。

(工藤義衛)

居間付近の平面図



村山家住居復元模型の公開

主催：石狩市郷土研究会

会場：市民図書館研修室

期間：平成17年5月28日(土)～6月12日(日)

文化財課が移転します！

6月から文化財課がいしかり砂丘の風資料館に移転します。文化財に関するお問い合わせは、いしかり砂丘の風資料館をお願いします。

〒弁天町30-4 ☎62-3711

✉i-museum@bz01.plala.or.jp